



IBARAKI
INA FOOTBALL CLUB NEWS
Est. 1987

第8号

2019. 3. 1~30期生、卒業！～

【第30期生 進路状況】

大 学	【文系】駒澤大学・日本大学・獨協大学・国土館大学・二松学舎大学・中央学院大学・流通経済大学・千葉商科大学・武蔵野大学・大東文化大学 【理系】玉川大学・東京電機大学・帝京科学大学
専門学校	晃陽看護栄養専門学校・筑波研究学園専門学校学校・大宮国際動物専門学校・東京法律専門学校・日本総合医療専門学校・パリ総合美容専門学校・ベルエポック美容専門学校
就職など	警視庁・常総広域消防



～ありがとう！26名の“伊奈リーガー”～
 平成31年3月1日、30期生サッカー部員26名が伊奈高校を卒業しました。個性豊かで横の繋がりが強い30期生は最後まで一緒に颯爽と学校を後にして行きました。今後、多くの成果と勝利への課題を後輩たちに託し、30期生はそれぞれの進路に進みます。初めての環境や人間関係に疲れ、伊奈高サッカー部が懐かしくなった時には、そこに居るのが当たり前のような顔をして思い出のグラウンドに来てください。そこには先生たちはもちろん、30期生を尊敬してやまない後輩たちの直向きにサッカーをする姿があります。その姿は、必ず先輩たちに力を与えることでしょう。30期生の輝かしい未来に期待しています。卒業おめでとう！頑張れ！30期生！！

今回は、2回目のフットサル特集号です！

1 第1回 茨城オープン

2月16、17日の二日間、水海道総合体育館、水海道一体育館、岩井高体育館を会場とし、群馬県のデルミリオールクラウド、千葉県の中央学院高校、栃木県の矢板中央高校等を招待して『第1回茨城オープン』と銘打ったフットサル大会が開催されました。我々伊奈高校も今年度の茨城県王者として招待していただき参戦して来ました。伊奈高校は山梨県代表校の出場辞退を受け、卒業を控えた3年生中心の伊奈高校Aと2年生中心の伊奈高校Bの2チームで出場、伊奈Aは昨年7月の関東大会3位決定戦（全国出場をかけた一戦）で敗れた矢板中央高との再戦を目指し、伊奈Bは3月に行われるフットサル選手権茨城県大会での活躍を念頭にそれぞれが高いモチベーションでアグレッシブに戦いました！

【結果】

◎16日（土）第1次ラウンド（予選）

Aブロック (変則対戦型)	伊奈高校B	叡明高校 (埼玉県)	笠間高校	中央学院高校 (千葉県)	伊奈高校A	勝	負	分	順位
伊奈高校B		1-1 △		5-5 △		0	0	2	3
叡明高校 (埼玉県)	1-1 △				0-4 ×	0	1	1	4
笠間高校				1-8 ×	1-6 ×	0	2	0	5
中央学院高校 (千葉県)	5-5 △		8-1 ○			1	0	1	2
伊奈高校A		4-0 ○	6-1 ○			2	0	0	1

Bブロック	古河二高校	矢板中央高校 (栃木県)	水海道一高校	勝	負	分	順位
古河二高校		0-5 X	2-5 X	0	2	0	3
矢板中央高校 (栃木県)	5-0 O		3-2 O	2	0	0	1
水海道一高校	5-2 O	2-3 X		1	1	0	2

Cブロック	正智深谷高校 (埼玉県)	テルミリオークラウド (群馬県)	総和工業高校	勝	負	分	順位
正智深谷高校 (埼玉県)		0-11 X	5-1 O	1	1	0	2
テルミリオークラウド (群馬県)	11-0 O		9-2 O	2	0	0	1
総和工業高校	1-5 X	2-9 X		0	2	0	3

今年から実施のU-18フットサル「茨城オープン」、関東エリアから昨年の7月の関東大会に出場した高校・クラブが多く出場し、11チームで優勝を争いました。本校サッカー部は、幸運にもA・Bの2チームを出場させていただきました。Aは関東ベスト4に入った3年主体のチーム、Bは次の茨城県チャンピオンを目指す2年生のチームです。Bは初日1試合目、前哨戦、苦戦しながらも何とかドローに持ち込むと、2試合目の優勝候補、中央学院高戦では追いける展開ながらも落ち着いての攻撃で何とか食らいつき、こちらもドローに持ち込むことに成功。リーグ3日で翌日の上位リーグ進出を決めました。引退し少し時間が経った3年主体のAは、初戦の前哨戦、なかなか感覚が戻らずバタバタしながらも何とか勝つと2試合目では本来には及ばないものの調子をあげて空気に快勝し、Bと同じく翌日の上位リーグに駒を進めました。2日目の上位リーグでは、BはIブロックで、水海道一高に快勝すると、強豪・テルミリオークラウド相手にも確固しドローに持ち込みましたが、得失点差で決勝進出を果たせませんでした。IブロックではAが快進撃。関東2位・中央学院高を1-0、そして最大の目標だった矢板中央高を0-2からの逆転、奇しくも、関東大会での敗戦スコアの真逆、8-3で下し、決勝戦に臨みました。しかし、・・・引退して少し経つ3年生の体力は、矢板中央戦で限界を迎えていました。全く走れず、体の干しなど一切ない3年に、試合巧者であるテルミリオークラウドに立ち向かう力はありませんでした。決勝戦の結果は残念ではありましたが、伊奈Aが準優勝、伊奈Bが第3位と、伊奈高サッカー部が存在感を示すことができた2日間だったのではと思わせる内容でした。

◎17日(日)第2次ラウンド(順位決定)
(上位グループリーグ)

Iブロック	伊奈高校A	中央学院高校 (千葉県)	矢板中央高校 (栃木県)	勝	負	分	順位
伊奈高校A		1-0 O	8-3 O	2	0	0	1
中央学院高校 (千葉県)	0-1 X		3-2 O	1	1	0	2
矢板中央高校 (栃木県)	3-8 X	2-3 X		0	2	0	3

伊奈A
0
4
テルミリ

- 優勝
- テルミリオークラウド
(群馬県)
- 準優勝
- 伊奈高校A
- 第3位
- 伊奈高校B

IIブロック	水海道一高校	伊奈高校B	テルミリオークラウド (群馬県)	勝	負	分	順位
水海道一高校		0-5 X	0-8 X	0	2	0	3
伊奈高校B	5-0 O		0-0 △	1	0	1	2
テルミリオークラウド (群馬県)	8-0 O	0-0 △		1	0	1	1

(下位グループリーグ)

IIIブロック (変則対戦型)	観明高校 (埼玉県)	古河二高校	笠間高校	総和工業高校	正智深谷高校 (埼玉県)	勝	負	分	順位
観明高校 (埼玉県)		6-1 O		2-6 X		1	1	0	3
古河二高校	1-6 X				2-3 X	0	2	0	5
笠間高校				1-4 X	1-1 △	0	1	1	4
総和工業高校	6-2 O		4-1 O			2	0	0	1
正智深谷高校 (埼玉県)		3-2 O	1-1 △			1	0	1	2

【伊奈高校A】



【伊奈高校B】

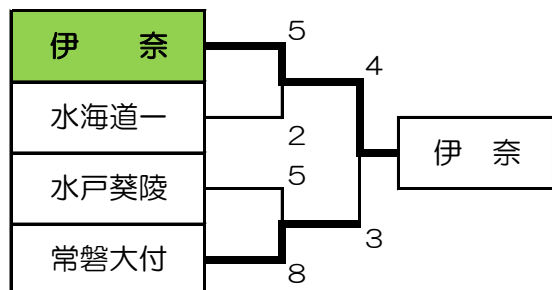


今年は各大会等との兼ね合いから、昨年6月下旬に行われたJFA全日本ユースフットサル選手権大会の茨城県予選が3ヶ月以上前倒しされ3月に開催されることになりました。伊奈高校はリーグ戦等の3月日程がズレたことが幸いし、前年度優勝校としてトップチームで出場することができました。昨年の大会では幸運にも関東大会に出場し、多くのクラブ、強豪高校と対戦することができ、その後のサッカーにも大きなプラスをもたらすことができました。今回もサッカーへの大きな還元を狙い、伊奈高校は全力で戦いました！

【1日目：予選リーグ 平成31年3月9日（土）】会場：久慈サンピア体育館

Aブロック	伊奈	総和工業	水戸葵陵	土浦第一	勝	負	分	勝点	得点	失点	差	順位
伊奈		○ 3-1	○ 3-2	○ 6-0	3	0	0	9	12	3	9	1
総和工業	1-3 ×		0-9 ×	4-5 ×	0	3	0	0	5	17	-12	4
水戸葵陵	2-3 ×	9-0 ○		7-2 ○	2	1	0	6	18	5	13	2
土浦第一	0-6 ×	5-4 ○	2-7 ×		1	2	0	3	7	17	-10	3

【2日目：決勝トーナメント 平成31年3月16日（土）】会場：アツマーレ体育館（城里町）



準決勝 伊奈 5 - 2 水海道一

決勝 伊奈 4 - 3 常磐大高

優勝：伊奈高校(4度目) → 関東大会出場！

監督室から～再び、関東大会へ～

大きな日程変更があり、大会開催が3ヶ月ほど前倒しになったU-18フットサル選手権大会茨城県予選で11月から始動した新チームが、前チームに続き優勝することができました。前チームのような攻撃に特化したスタイルではなく、堅実に守備をする新チームのスタイルが激戦を制した全勝での優勝に繋がったのではないかと思います。ここで得た経験や技術等を、4月にすぐ始まる関東大会県西地区予選への良い起爆剤として、新人戦の県ベスト16を上回る結果を手にしたいところです。また、今回も多くの方々の保護者の方々（卒業生の保護者も含む）に会場までお越し下さり、熱い応援を頂くことができました。保護者、関係者の皆様には今後も伊奈高校サッカー部への熱い声援とご協力をお願いいたします。

(伊奈高校サッカー部 監督 杉山利之)

